

科目名 (科目番号)	診療画像技術学実習 I (基本技術) (052103)	教員名 村中 博幸 他	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	<p>学内の実習装置を用いた診療X線装置および関連機器の性能評価、保守点検・安全事項の確認、人体ファントム等による撮影・撮像実習を通して、「機器の技術」、「撮影・撮像の技術」及び「画像評価の技術」を体系的に理解させるとともに、理論を実践に応用することができる能力を身に付けることを目標とする。「診療画像技術学実習 I」では、主に診療X線技術分野で学習したX線発生装置および一般撮影装置に関する基礎的知識の確認や装置の保守管理、人体ファントムを用いた各種の一般撮影ポジショニングの基本技術、X線撮影画像の評価等に関する知識・技術を身につけるとともに、臨床実習 I へ繋げることを目標とする。あわせて診療放射線技師に必要な医療人としての人間形成を図る。</p>						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	患者対応・眼底検査の実技	到達目標:臨床で患者への配慮や撮影、検査準備の指示ができる。眼底検査ができる。 学習内容:撮影や検査における患者対応について学ぶ。眼底検査法については、撮影のコツと画像のチェックポイントについて解説する。				
	2	一般撮影の実技(胸部・腹部・腰椎)	到達目標:装置の名称と特徴を理解し、操作方法を習得する。 学習内容:胸部・腹部・腰椎のX線撮影法の実践を行う。撮影のコツと画像のチェックポイントについて解説する。精度管理の方法について学ぶ。				
	3	一般撮影の実技(骨・関節)	到達目標:装置の名称と特徴を理解し、操作方法を習得する。 学習内容:脊椎、上肢および下肢のX線撮影法の実践を行う。撮影のコツと画像のチェックポイントについて解説する。(課題あり)				
	4	一般撮影の実技(マンモグラフィ)	到達目標:装置の名称と特徴を理解し、操作方法を習得する。 学習内容:乳房撮影法の実践を行う。撮影のコツと画像のチェックポイントについて解説する。更に、精度管理の方法について学ぶ。				
	5	X線造影検査(消化管)	到達目標:装置の名称と特徴を理解し、操作方法を習得する。 学習内容:上部消化管(胃・十二指腸)および下部消化管(小腸・大腸)の造影検査手技について、撮影のコツと画像のチェックポイントについて解説する。				
	6	超音波検査の実技(腹部)	到達目標:装置の名称と特徴を理解し、操作方法を習得する。 学習内容:腹部の超音波検査法について、撮影のコツと画像のチェックポイントについて解説する。				
	7	放射線治療計画の実施	到達目標:CT撮影、治療計画装置での画像の取り込みができる。 学習内容:放射線治療計画の基礎をCTおよび治療計画装置を用いて学習する。				
	8	CT検査の実技・三次元処理	到達目標:検査の流れを理解し、検査方法を習得する。 学習内容:頭部・胸部・腹部のCT検査の実践を行う。撮影のコツと画像のチェックポイントについて解説する。3DWSを使用した3次元処理を行う。(課題あり)				
成績評価の方法・基準	レポートの提出状況と内容(80%)、一般撮影の客観的臨床能力の評価(OSCE)による実技試験(20%)とする。						
教科書	なし						
参考図書	新・医用放射線技術実験-臨床編-(第2版) 医用画像検査技術学		田中仁・山田勝彦・他著 東田善治・新開英秀・他著		共立出版 南山堂		
教員からのメッセージ	実習は小グループで行いますので、積極的に講師に質問して下さい。実習レポートの提出期限を厳守して下さい。実習終了後に、一般撮影の実技評価を行います。各グループで、実習日が異なりますので十分注意して下さい。レポートは返却します。						